



入試について変更が生じる場合は本学ホームページにてお知らせいたしますのでご確認ください。

本学ホームページはこちら
<https://www.konan-wu.ac.jp/admission/>



甲南女子大学

総合型選抜（専願）について

「総合型選抜（専願）」における受入方針

総合型選抜は、本学の理念及び教育方針に基づき各学科が求める学生像(アドミッション・ポリシー)に照らし、志望学科の学生としての適性を多面的に検討して、可否を判定する入学者選抜制度です。

この選抜は、上記のように適性を重視するものであるため、出願に先立ってエントリーをするとともに、総合型選抜セミナー、学科面談、体験授業などを通して、本学の理念及び教育方針や志望学科での学びなどについて、十分に理解を深めていただいた上で、その後、総合型選抜を受験していただきます。

したがって、総合型選抜においては、志望学科で学ぶことの抱負と意欲や各学科が求める能力を測る試験、及びこれまでの勉学・活動実績を組み合わせ、総合的に評価します。

本学では、総合型選抜による入学者に、本学の理念及び教育方針を理解して、それぞれの学科の特色を体現する学生になることを期待しています。総合型選抜の趣旨をよく理解し、何よりも本学への進学を強く希望する人の、積極的なチャレンジを待っています。

1. 総合型選抜（専願）の概要

学 部	学 科	募集人員	選考方法	学科別出願書類
国際学部	国際英語	4	面接(英語によるプレゼンテーションを含む)、書類審査	自己推薦書、活動報告書
	多文化コミュニケーション	2	面接(口頭試問、プレゼンテーションを含む)、小論文(出願時に提出)、書類審査	自己推薦書、活動報告書、小論文
文学部	日本語日本文化	2	面接(課題文を提示して口頭試問)、書類審査	自己推薦書、活動報告書
	メディア表現	5	小論文、グループ面接、書類審査	自己推薦書、活動報告書
人間科学部	心理	2	面接、書類審査	自己推薦書、活動報告書
	総合子ども	5	グループワーク、グループワークについての振り返り作文、面接、書類審査	活動報告書
	文化社会	2	面接(インタビューに基づいて発表)、書類審査	自己推薦書、活動報告書
	生活環境	3	面接(プレゼンテーションを含む)、書類審査	自己推薦書、活動報告書
看護リハビリテーション学部	看護	5	小論文、面接、書類審査	自己推薦書
	理学療法	2	小論文、面接(課題レポート内容を踏まえた口頭発表)、課題レポート(出願時提出)、書類審査	課題レポート
医療栄養学部	医療栄養	2	小論文、面接、書類審査	自己推薦書、活動報告書

2. 出願資格

次の条件①～③の条件のすべてに該当する女子

① 次の条件のいずれかに該当する者

- (ア) 高等学校（もしくは中等教育学校）を卒業した者、及び 2023 年 3 月卒業見込みの者
- (イ) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、及び 2023 年 3 月修了見込みの者
- (ウ) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び 2023 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者

② 本学を専願し、合格した場合は本学に必ず入学することを確約できる者

③ エントリー手続を終了した者

3. 総合型選抜（専願）の流れ

5 の出願から検定料が必要です。

ここまでのプロセスはお互いのマッチングが主な目的となり全員がプログラムを修了できます。

1

総合型選抜セミナーを受講する

こちらからご覧ください

総合型選抜を検討される受験生向けのセミナーです。
Webまたはオープンキャンパス<6月～8月>でも視聴いただけます。



URL: <https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/ao/>

2

体験授業を受講する

こちらからご覧ください

Webでの体験授業動画の視聴、またはオープンキャンパス当日<6月～8月>の体験授業受講のどちらでも可能です。



URL: <https://www.konan-wu.ac.jp/admission/exam/ao/>

3

エントリーシート(自己PR・体験授業の感想)を提出

(出願に際しては必ずエントリーが必要です。エントリーは1学科のみです。)

Webフォームよりエントリーシート(自己PRと体験授業の感想)を提出してください。

[提出期間]

2022年6月5日(日)0:00～8月11日(木)23:59

[Webフォームリンク]

本学ホームページ(<https://www.konan-wu.ac.jp>)から
行ってください。

[提出内容]

自己PR: 400文字程度 体験授業の感想文: 400文字程度



エントリーシートを受領後、学科面談の予約サイトのURL を自動返信メールで送付します。
学科面談の集合場所やWeb(Zoom) の接続方法等、詳細はこちらのメールで送付します。

4

学科面談を受ける(予約制:各実施日の前日15時予約締切)

予約サイトで学科面談を予約してください。学科面談は予約時間によって対面またはWeb(Zoom)で実施します。(どちらもオープンキャンパス当日に実施)

※期間後半は予約が集中します。
余裕をもってご対応ください。

[学科面談実施日](オープンキャンパス実施日)

2022年7月16日(土)／17日(日)
8月 6日(土)／7日(日)
9月 4日(日)

※各日10:00～17:00で実施

4 まで修了された方には後日プログラム修了のお知らせをメールで送付します。-----

5

出願

[出願期間]

2022年9月7日(水)～9月14日(水)

[入学検定料]

35,000円

1 度の入学検定料の振込みで、本学の総合型選抜及び推薦型選抜が受験できます。

選考

6

選考(面接等)

[選考日] 2022年10月1日(土)

※個別に時間を指定することがあります。

7

合格発表

[合格発表日] 2022年10月6日(木)

8

入学手続

[入学手続締切日] 2022年10月20日(木)

4. 出願書類

下記の出願書類を書留速達で郵送してください。出願期間外の出願書類は受け付けません。

(1) 入学願書	本学Webサイトよりご出願ください。
(2) 写真データ	本学Webサイトよりアップロードしてください。 出願以前 3ヵ月以内に撮影した正面無帽、上半身のもの
(3) 調査書	学習成績の状況（評定平均値）の記載があり、出身校長が証明、厳封したもの 原則第3学年第1学期まで（前期・後期の課程制の場合は第3学年の前期まで）の成績 が記載された調査書を提出してください。
(4) 自己推薦書 ※必要学科のみ	自己PR、志望動機、入学後の抱負、高校での活動を通じて得たものなどを記入してく ださい。 ホームページより各学科指定の書類をダウンロードし、印刷・記入してください。
(5) 活動報告書 ※必要学科のみ	各学科が指定する項目のうち、活動実績がある項目のみ記入し、提出してください。 活動の記録や証明がある場合はコピーを添付してください。
(6) その他	各学科が指定する書類（資格証明書等はコピーを同封してください。）

5. 出願書類（活動報告書）の提出方法

各学科が指定する活動報告書の項目について、活動実績がある項目のみ活動報告書を提出してください。各書類はホームページからダウンロードし、印刷してください。「活動報告書類確認票」・「活動報告書」と「添付資料」（活動の記録や証明書が有る場合は添付してください）をセットにして提出してください。証明書等はA4サイズにコピーしたものを添付してください。記入が終了しましたら、書類をそろえ出願できる状態にし、「活動報告書類確認票」の高等学校承認欄に高等学校の先生の承認を得て出願期間内に郵送してください。活動報告書を提出されない方は、「活動報告書類確認票」の“活動報告書の提出なし”に印をつけて提出してください。

※看護学科と理学療法学科は提出の必要はありません。

※文化社会学科は、学科指定の書式を使用してください。

国際学部 国際英語学科

学科の求める学生像

国際英語学科では次のような資質を持った多様なタイプの学生を求めます。

関心・意欲・態度

英語及び、英語圏の文化や社会に強い関心を持っており、英語圏への留学によって英語の力をつけることに意欲のある人

英語教育や国際ビジネス・ホスピタリティの領域で、卒業後に英語力を活かすことに意欲のある人

知識・教養／知識・技能

小・中・高校での英語学習をふまえ、少なくとも CEFR A2 レベルの英語運用能力を持っている人

思考力・判断力・表現力

高等学校までに履修した主要教科の知識をふまえ、批判的思考力や論理的表現力の土台を持っている人

協働性・主体性

英語習得をはじめとする学習に対して主体的に取り組むことができるとともに、多様な人々と協働して学ぶ態度を持っている人

評価のポイント

以下の項目について総合的に評価します。

- ① 英語や英語圏の文化や社会に関する学習意欲を具体的な経験から示すことができるか。
- ② 積極性やリーダーシップを高等学校までの経験や実績から示すことができるか。
- ③ 確かな自己分析を踏まえた上での将来像を持っているか。
- ④ 英語の基礎的なコミュニケーション能力が備わっているか。

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接(英語によるプレゼンテーションを含む)	10:00～
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

- 調査書
- 自己推薦書
- 活動報告書
 - ◆ 資格・検定

国際学部 多文化コミュニケーション学科

学科の求める学生像

多文化コミュニケーション学科では、文化的背景が異なる多様な人々からなる社会で生きるための、ことば・国際教養・行動力を総合的に学び、確かなコミュニケーション能力を身につけます。具体的には下記のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

自分とは異なる文化や社会に強い関心を持ち、ステレオタイプを脱して異文化理解を探究する人

世界に目を向け、多様な文化的、社会的背景を持つ人々に出会い、意見を交し合う意欲を持つ人

グローバル社会の課題解決に向けて積極的に行動したいと考える人

外国語の高度な運用能力獲得をめざす人

知識・教養

英語、韓国語、中国語、インドネシア語のいずれかの言語の基礎的な力(CEFR A2 レベル)を持っている人

グローバル社会で生じる様々な課題に対する基礎的な知識を持っている人

思考力・判断力・表現力

グローバル社会の中で多様な人々と関わりながら、批判的思考力、論理的判断力を駆使して自身の意見を主体的に伝えられる言語表現力を持っている人

協働性・主体性

グローバル社会や地域社会の中で生じるさまざまな課題を理解し、多様な国や地域の人々の文化的背景に配慮しながら協働し、より良い社会を構築していく主体性を持っている人

評価のポイント

I 下記の4つのポイントのいずれかを満たしていること

- ① 外国語検定試験の級位・スコアまたは国際的な資格を持っていること(CEFR A2 レベル以上)(証明できる写し(資格証明書)を出願時に同封してください)
- ② 継続的、あるいは集中的なボランティア活動(NGO、NPO など)の経験がある。
- ③ 長期(1 か月以上)の海外滞在経験がある。
- ④ 特定の国際情勢や社会問題について、その背景や問題の本質に及ぶ知識と深い理解力を有し、自らの考えについて説得力のある議論をすることができる。

II 上記を踏まえて、以下から選んだ項目について総合的に評価します。

・Iであなたが選んだ評価のポイントと対応したテーマを以下から一つ選び、小論文を1,500～2,000字以内で作成し、出願時に提出してください。(小論文を記述する際に、選んだテーマの番号を必ず記載すること。原稿用紙、レポート用紙等、様式は自由)

- ① 外国語を学んだり、使ったりした体験から考えたこと
- ② ボランティア活動の経験を通して考えたこと
- ③ 長期にわたる海外滞在の体験を通して考えたこと
- ④ 関心のある国際情勢や社会問題について発表や議論した経験を有し、それらを踏まえて自分の立場から考察したこと

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接(口頭試問、プレゼンテーションを含む)	10:00～
小論文(出願時に提出)	—
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

■ 調査書 ■ 自己推薦書 ■ 小論文(1,500～2,000字以内)

■ 活動報告書

- ◆ 生徒会・委員会 ◆ 学校行事 ◆ 部活動 スポーツ活動/文化芸術活動/ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 学校以外の活動 スポーツ活動/文化芸術活動/ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 留学・海外経験 ◆ 資格・検定

※上記の項目のうち2件以上(6件以内)を提出してください。

文学部 日本語日本文化学科

学科の求める学生像

日本語日本文化学科では、日本語や日本文化と、それらを基盤にした話し方などのコミュニケーション能力やホスピタリティの精神を学びます。これらの分野に強い関心のある学生を幅広く求めます。日本語日本文化学科では、以下のような学生を求めています。

関心・意欲・態度

日本語と日本文化に関心があり、
この分野における多様な知識を学ぶ強い意志を持ち、
人間性と文化を尊重する心を有する人

知識・教養

日本語日本文化の諸分野を学ぶにあたり、
必要な基礎学力※を習得した人
※高等学校までに履修した主要教科
(国語、英語、社会、数学、理科)の基礎的な知識

思考力・判断力・表現力

知識・教養を基盤として、
深い思考をもとに適切な判断のできる人

協働性・主体性

思いやりの心を持ち、人と文化の多様性を尊重して
チームワークのとれる豊かな人間性を持つ人

柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人

コミュニケーション能力を向上させることができ、
自己表現力を高めようとする人

評価のポイント

以下の項目について総合的に評価します。(学びたい分野によって重視するポイントは異なります)

- ① 日本語や日本文化・社会について広く関心を持っており、さらに深く学ぶ意欲を持っている。
- ② 自分の学びたい分野への関心や意欲の高さを具体的に示すことができる。
- ③ 自分の学びたい分野に関して、特筆すべき活動や経験・特技がある。
- ④ 与えられる課題の内容を把握した上で、それに対する自分の考えを具体的に述べることができる。

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接(課題文を提示して口頭試問)※	10:00～
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

※面接当日に課題文が提示されます。内容を把握したうえで、それに対する自分の考えを具体的に述べていただきます。

出願書類

■ 調査書 ■ 自己推薦書

■ 活動報告書

◆ 生徒会・委員会

◆ 部活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動

◆ 学校以外の活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動

文学部 メディア表現学科

学科の求める学生像

メディア表現学科では、多様化する情報社会において、文字、画像、音、動画、身体、インターネットなどを用いたメディア表現への関心を基盤にして、メディア表現と人との関係や、メディア表現が社会に及ぼす影響を学びます。これらの分野に強い関心のある学生を幅広く求めます。メディア表現学科では、以下のような学生を求めています。

関心・意欲・態度

アナログ、デジタルと問わない幅広いメディア表現に関心があり、この分野における多様な知識を学び、表現を行うという強い意志を持ち、文化、特に創作活動を尊重する心を有する人

知識・教養

メディア表現の諸分野を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を習得した人。及び、メディア表現への豊かな感性をもつ人
※高等学校までに履修した主要教科
(国語、英語、社会、数学、理科)の基礎的な知識

思考力・判断力・表現力

知識・教養・感性を基盤として、深い思考力と豊かな感性をもとに適切な判断ができ、自分の考えを適切なメディアで表現できる人

協働性・主体性

主体的に自己表現ができるだけでなく、チームでの表現のために必要な思いやりの心を持ち、人と文化と多様性を尊重する豊かな人間性を持つ人

多彩なメディアを柔軟に使い、自由な発想で問題を解決しようとする人

自己表現を追求できるだけなく、自らが制作した表現を他者に伝えるコミュニケーション能力を高めることができる人

評価のポイント

小論文

メディア表現に関して与えられた課題の内容を把握した上で、論理的に考え展開できる

グループ面接

メディア表現に強い関心があることを簡潔にかつ具体的に示すことができる
1分以内で自己PRをする(作品・パフォーマンス等提示を含む)

選考方法

選 考 方 法	時 間
小論文※	10:00～10:40(40分)
グループ面接	11:30～
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

※小論文のテーマは試験当日に提示します。

出願書類

■ 調査書 ■ 自己推薦書

■ 活動報告書

◆ 部活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動

◆ 学校以外の活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動

人間科学部 心理学科

学科の求める学生像

心理学科では、次のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

人の行動やその心理に強い関心を持って、科学的態度で臨むことができ、客観的にものごとに対処しようとする姿勢と実践力を有している人

知識・教養

心理学の諸領域の幅広い教養と専門的知識を学ぶにあたり、高等学校までに履修した国語、数学、英語、社会、理科などの心理現象を理解するのに必要な基礎的な学力を習得している人

思考力・判断力・表現力

心理学を学びそのことをこれからの社会に貢献できるように表現していく発信力と行動力を有している人

協働性・主体性

自主的、積極的に学ぶ意欲を持って、実験・実習などの少人数クラスによく適応し、主体的にグループワークに参加しようとする態度を持っている人

評価のポイント

以下の項目について総合的に評価します。

- ① エクセル（例、平均値を算出、グラフ作成）、ワード（文書作成）、パワーポイント（プレゼンテーション作成）の基本操作を含む情報リテラシーについて評価します。
- ② これまでの高等学校での正課・課外活動において、主体的に人と関わった活動について具体的に報告ができ、人との関わり方や関心の高さについて評価します。
- ③ 学習成績の状況（評定平均値）が 3.2 以上であることが望ましい。

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接	10 : 00 ~
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

- 調査書
- 自己推薦書
- 活動報告書

※「主体的に人と関わった活動」に関するものを3件以上（6件以内）を提出してください（項目のカテゴリは問いません）。

人間科学部 総合子ども学科

学科の求める学生像

総合子ども学科では、次のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

子どもや保育・教育に関心を持って学びを深め、保育士資格、教員免許状を取得し、それを実社会に生かそうとする人

知識・教養

子どもや保育・教育について学ぶにあたり、必要な基礎学力※を修得した人
※高等学校卒業までに履修した教科の基礎的な知識

思考力・判断力・表現力

学んだことを基盤として合理的に考え、理性的に判断できる人

自分の考えたことを適切に表現できる人

協働性・主体性

進んで周囲の人たちと協働できる人

自ら考え、積極的に学ぶ姿勢を有する人

評価のポイント

以下の項目について総合的に評価します。

- ① 自主的・継続的な(1年半以上)生徒会活動や部活動の経験または音楽や美術などの芸術活動において秀でた能力もしくは特技があり、かつリーダーシップがあるか。
- ② グループワークにおいてプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、時間運用(配分)能力があるか。
※ 部活動や芸術活動では表彰(受賞)(地区大会優勝、NHKの合唱コンクールやビデオコンクールなどでの入賞など)の経験があることが望ましい。また、自主的・継続的な(半年以上)子どもに関わる社会活動(活動例:児童館や福祉・医療施設などでのボランティア活動、子ども会活動、自然体験活動推進協議会の入会団体が行っている活動など)の経験があるとよい。
- ③ 資格・免許の取得・活用に必要な学力(作文能力)

選考方法

選 考 方 法	時 間
グループワーク	10:00～11:00(60分)
グループワークについての振り返り作文	11:10～12:10(60分)
面接	13:00～
書類審査(調査書、活動報告書※)	—

※活動報告書でPRできない学びの履歴や体験については、面接で表現(説明)をしてください。

出願書類

■ 調査書

■ 活動報告書

- ◆ 生徒会・委員会
- ◆ 部活動 スポーツ活動/文化芸術活動/ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 学校以外の活動 ◆ 学校行事
- ◆ 留学・海外経験 ◆ 資格・検定

人間科学部 文化社会学科

学科の求める学生像

文化社会学科では、身の回りで起きているさまざまな社会現象に対して、自ら動いて情報を集め、集めた情報をもとに自分で答えを出し、その答えを人に向けて的確に伝えることのできる人材を育成します。これらの諸能力は、実社会のどんな仕事や場面でも必要とされる諸能力です。このような本学科の教育目標に基づいて、以下のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

さまざまな現代文化・社会現象・社会問題に関心を持つ、好奇心旺盛な人

社会に氾濫する情報の真偽を自分の目で確かめ、周囲の意見に流されない自分の考えを持ちたいと思う人

インタビューやアンケートなどの「取材」(社会調査)の手法に関心がある人

思考力・判断力・表現力

ひとつの対象をさまざまな角度から事実(データ)をもとに考察することができる人

知識・教養を基盤として適切な判断のできる人

自分の意見やアイデアを的確な方法で表現することができる人

知識・教養

社会学の諸分野を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を習得した人
※高等学校までに履修した主要教科(国語、英語、社会、数学、理科)の基礎的な知識

協働性・主体性

人と協力して、集団的な活動ができる人

自ら考えて動くことができる人

評価のポイント

一人の人物を選び、インタビューをしてきてください。面接時には、そのインタビュー内容に基づいて、発表をしてもらいます。評価にあたっては、本学科で学んでいくうえで重要な以下の項目を重視します。

- | | |
|---|---|
| ① 課題の内容についての評価
(ア) その人物を選んだ理由を、明確に説明できているか
(イ) インタビューの準備は、十分になされているか
(ウ) 「知りたいこと」を的確に聞いているか
(エ) インタビュー結果に基づいて、考えが展開されているか | ② プレゼンテーション能力
(ア) インタビューの趣旨とその内容とを的確に表現できているか
(イ) プレゼンテーション資料は、十分なものであったか
(ウ) 面接員からの質問に的確に答えられていたか |
|---|---|

※上記の2つに加え、学校や社会での活動(部活動、習い事、ボランティアの経験など)があれば、評価の対象とします。

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接(インタビューに基づいて発表)	10:00 ~
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

■ 調査書 ■ 自己推薦書

■ 活動報告書

- ◆ 生徒会・委員会 ◆ 学校行事
- ◆ 部活動 スポーツ活動/文化芸術活動/アカデミック活動/ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 学校以外の活動 スポーツ活動/文化芸術活動/ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 留学・海外経験 ◆ 資格・検定

人間科学部 生活環境学科

学科の求める学生像

生活環境学科では、環境に対する人のあり方、暮らしのあり方を学び、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動する能力および態度を身につけます。生活環境学科では、以下のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

生活環境に関わる諸問題に対する積極的な強い関心を持つ人

広い視野と旺盛な知的好奇心を持つ人

知識・教養

生活環境学科の諸分野を学ぶにあたり必要となる基礎的な計算能力、論理的な思考力、科学的な分析力を習得した人

協働性・主体性

自ら学ぼうとする情熱や習慣をもつ人

新しい課題に率先して取り組もうとする姿勢を有する人

思考力・判断力・表現力

物事を総合的に捉えて理解できる人

暮らしにおける問題を発見・把握する能力を有する人

多様な人々とコミュニケーションを図り、協力・調整しようとする人

評価のポイント

以下の項目について総合的に評価します。

- ①暮らしへの強い関心があり、それを具体的に示すことができる。
- ②暮らしにかかわる分野において、特筆すべき活動や経験・特技がある。
- ③次のテーマに対して面接時にプレゼンテーションができる。
テーマ：あなたが最も関心のある身近な暮らしにかかわる問題について、
 - ・その問題に着目した理由を述べなさい。
 - ・その問題の解決策について根拠を示しながら提案しなさい。

選考方法

選 考 方 法	時 間
面接(プレゼンテーションを含む)	10:00～
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

■ 調査書 ■ 自己推薦書

■ 活動報告書

- ◆ 生徒会・委員会 ◆ 学校行事
- ◆ 留学・海外経験 ◆ 資格・検定
- ◆ 部活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動
- ◆ 学校以外の活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動

看護リハビリテーション学部 看護学科

学科の求める学生像

看護学科は、以下のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

人とかわかることに関心を持ち、
命の尊さや人々の健康、生活について理解しようとする人

知的好奇心が旺盛で、
幅広い分野で自分の能力を高めたいという意欲をもつ人

相手の立場を思いやって考え、行動しようとする人

人と文化の多様性を尊重し、
広い視野を持ちながら国際社会に貢献しようとする人

知識・教養

看護学を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を身に付けた人
※高等学校までに学ぶべき教科
(英語、国語、数学、理科、社会)を習得していること

思考力・判断力・表現力

柔軟な発想で物事を思考し、探究していこうとする人

知識・教養を基盤とした深い思慮と倫理観をもって
物事を判断しようとする人

コミュニケーション能力を向上させることができ、
自分の意思を表現できる人

協働性・主体性

様々な人々と協力して主体的に行動することができる人

主体的に学び続けることができる人

評価のポイント

以下の項目について、総合的に評価します。

- ①小論文(問いに対して根拠を示し自身の考えを客観的、論理的に示すことができるか)。
- ②面接(相手への関心を持ったコミュニケーションができるか、問われている意味を理解し自己の考えを示すプレゼンテーション力があるか)。
- ③自己推薦書(確かな自己分析を踏まえて将来像をもっているか、看護体験などの経験や優れた成績を修めた活動や実績を客観的、論理的に示すことができるか)。
- ④高校3年間(3学年1学期末)の理科、数学、国語、英語、地理歴史、公民それぞれの各教科の学習成績の状況(評定平均値)が3.2以上の成績を修めていること(高等学校までに学ぶべき教科をバランスよく優れた成績で学んできたか)。

選考方法

選 考 方 法	時 間
小論文	10:00～11:00(60分)
面接	13:00～
書類審査(調査書、自己推薦書)	—

出願書類

■ 調査書

■ 自己推薦書

(①志望動機、②ボランティアなどの社会活動やクラブ活動等の経験を有した活動報告、またはスポーツ・芸術活動などにおいて優れた成績を修めた活動報告、③1日看護体験学習報告(感染症対策のため体験できない場合に限り看護の体験)を通して自身の考え)

(①～③すべてを記載した学科指定の用紙A4両面1枚)

看護リハビリテーション学部 理学療法学科

学科の求める学生像

理学療法学科では、以下のような学生を求めます。

関心・意欲・態度

活動を通してひとの役に立てることに生きがいを感じる人

思考力・判断力・表現力

問題解決のために努力を惜しまない姿勢を持ち、物事に対する理解力と行動力を身につけようとする人

知識・技能

自己学習力があり、高等学校までに学ぶべき教科（理科、数学、国語、英語、社会）を習得し、理学療法を学ぶために必要な基礎学力を身につけた人

協働性・主体性

個別学習および集団学習で習得した理学療法の知識・技術を使って医療・地域社会に貢献しようとする意志の強い人

このような学生を得るために多様な方法で選抜します。

評価のポイント

各分野において、以下の項目について総合的に評価します。

- ① スポーツ理学療法分野
求める学生：スポーツを愛し、理学療法学を学ぶことによってスポーツ活動を実践する人のために積極的に支援・貢献したいと強く思う学生を評価します。また、今までのスポーツ経験やサポート経験（スポーツイベント等のボランティア経験など）を評価します。
- ② 女性の健康（ウィメンズヘルス）理学療法分野
求める学生：各世代で生じる女性特有の健康問題や、女性に多い疾患に対して関心を持ち、女性が健康的な生活を送るために、女性の理学療法士として貢献したいという意欲を持つ学生を評価します。
- ③ 生活習慣病に関する理学療法分野
求める学生：メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）や生活習慣病（肥満症、高血圧症、糖尿病、がんなど）に興味があり、理学療法士として疾病の予防に貢献したいという意欲を持つ学生を評価します。
（例：メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）や生活習慣病（高血圧症、糖尿病など）の予防、肥満の改善に役立つ運動など）
- ④ 高齢者の健康に関する理学療法分野
求める学生：高齢者の生活機能に影響を及ぼすフレイル（虚弱）やロコモティブシンドローム（運動器症候群）に関心を持ち、理学療法士として対象者の健康増進に貢献したいという意欲を持つ学生を評価します。
（例：フレイル（虚弱）、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、高齢者の健康問題（骨粗鬆症、認知症）など）
- ⑤ 高校時代の活動分野
求める学生：高等学校在学中に高い学習意欲を持ちながら、積極的に取り組んだ校内活動や課外活動を通して、資格を取得したり実績（表彰等）を残した記録等で成長を評価します。自分自身の魅力をアピールしてください。

選考方法

選 考 方 法	時 間
小論文	10:00～11:00(60分)
面接(課題レポート内容を踏まえた口頭発表)	13:00～
書類審査(調査書、課題レポート)	—

※小論文のテーマは試験当日に提示し、回答していただきます。

※面接は、書類審査とまとめた課題レポート内容をふまえて5分間の口頭発表を実施します。

質疑応答を通して、社会で活躍・貢献できる理学療法士を目指すために、高い学習意欲を持っているかについて評価します。

出願書類

■ 調査書

■ 課題レポート

下記の「理学療法分野」及び「高校時代の活動分野」のテーマ①～⑤から1つ選び、800字程度でレポートにまとめて出願時に提出してください。（様式自由）

理学療法分野

- ① スポーツによるけがとリハビリテーションについて
- ② 女性の健康（ウィメンズヘルス）について
（例：若い女性の健康、妊婦の健康、子育て女性の健康、高齢女性の健康など）
- ③ 生活習慣病の予防について
（例：メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）や生活習慣病（高血圧症、糖尿病など）の予防、肥満の改善に役立つ運動など）
- ④ 高齢者の健康維持・増進について
（例：フレイル（虚弱）、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）、高齢者の健康問題（骨粗鬆症、認知症）など）

高校時代の活動分野

- ⑤ 高等学校在籍中に積極的に取り組んだ活動と実績について
（例：部活動・生徒会活動等の学内活動、ボランティア・社会貢献活動等の課外活動など）

医療栄養学部 医療栄養学科

学科の求める学生像

医療栄養学科では、以下のような学生を求めています。

関心・意欲・態度

食と健康に関心があり、医療分野における栄養学を学ぶ強い意志をもち、人間性と生命に対する畏敬の念を有する人

知識・教養

医療栄養学を学ぶにあたり、必要な基礎学力※を修得した人
※高等学校までに履修した主要教科
(理科、英語、数学、国語、社会)の基礎的な知識

思考力・判断力・表現力

知識・教養を基盤として、
深い思考のもとに適切な判断ができる人

柔軟な思考のもとに自由な発想で問題を解決しようとする人

コミュニケーション能力を磨くことができ、
自己表現能力を高めようとする人

協働性・主体性

思いやりの心をもち、多様性を尊重して
チームワークのとれる豊かな人間性を持つ人

評価のポイント

- ① 高等学校において理科学科として化学基礎および生物基礎を履修していることが望ましく、いずれも優秀な成績を収めていること。
- ② 学部での学びに必要な読解力や文章作成能力を有していること。
- ③ 管理栄養士として活躍するのに必要なコミュニケーション能力に優れていること。

選考方法

選 考 方 法	時 間
小論文	10:00 ～ 11:00(60 分)
面接	13:00 ～
書類審査(調査書、自己推薦書、活動報告書)	—

出願書類

- 調査書
- 自己推薦書
- 活動報告書

◆生徒会・委員会

◆部活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動 等

◆学校以外の活動 スポーツ活動／文化芸術活動／アカデミック活動／ボランティア・コミュニティ活動 等

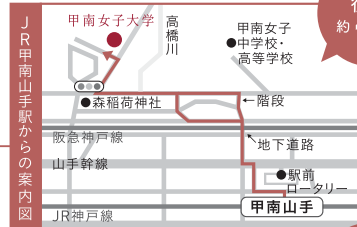
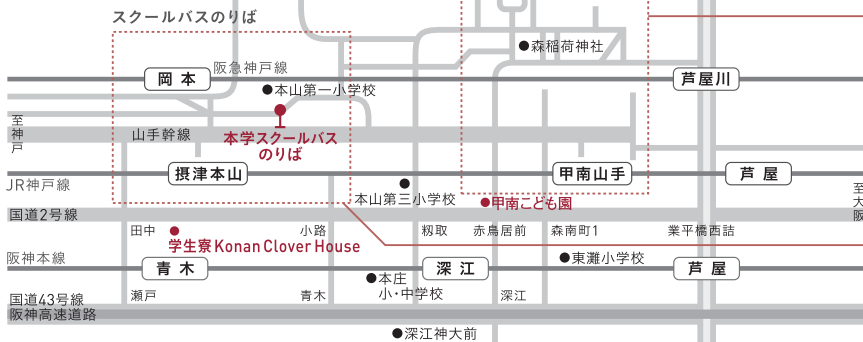
無料のスクールバスが
運行!



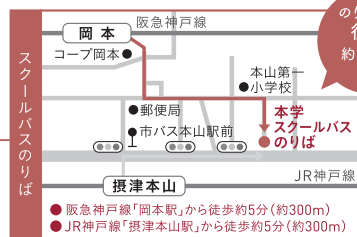
Access Map



スクールバスのりばや
地図などはWebサイト
にてご確認ください。



本学まで
徒歩
約10分



のりばまで
徒歩
約5分

入試インフォメーション

学生募集要項

学生募集要項は6月上旬発行予定です。本学Webサイトから請求できます(送料とも無料)。受験雑誌等で資料を請求された方、また入試説明会で本学のアンケートに回答された方には、完成次第第発送いたします。

※その他、大学院入試・編入学選抜の募集要項については、本学Webサイトを参照してください。

入試問題集

出題傾向が分かる入試問題集は、7月上旬発行予定です(送料とも無料)。ご希望の方はWebサイトにてご請求ください。

●入試に関するQ&AはWebサイトをご覧ください。

窓口業務の取り扱い日時

○月曜日～金曜日……………9時から17時まで

○休業日

- 土曜/日曜/祝日/創立記念日11月27日(日)
- 夏期: 8月6日(土)から8月17日(水)まで
- 冬期: 12月28日(水)から1月5日(木)まで

○お問い合わせ

(入試課) tel:078-431-0499/078-431-7600
fax:078-451-3680
e-mail:nyushi@konan-wu.ac.jp

○入学試験に関する個人情報の開示について

本学では、期間中に申請した受験者に対して、科目別の得点と合格最低点(大学入学共通テストの得点を除く)を開示します。開示受付時間等は別に定めています。

※詳しくは、学生募集要項をご覧ください。

学生募集要項・資料等の請求方法



パソコンから請求

本学Webサイト

(<https://www.konan-wu.ac.jp/admission/request/>)
から資料請求ボタンをクリックし、申し込みフォームに必要事項を入力してください。



スマートフォン・携帯電話から請求

右記QRコードをスマートフォン・携帯電話で読み取り本学Webサイトにアクセスしてください。資料請求ボタンをクリックし、申し込みフォームに必要事項を入力してください。



電話から請求

電話からのご請求については、(入試課) tel:078-431-0499
左記の入試課の窓口業務取り扱い時間にお電話ください。078-431-7600

ご提供いただいた個人情報は、大学からの資料等の提供に利用するもので、その他の目的には使用しません。詳しくは本学Webサイトの「個人情報保護について」をご覧ください。



甲南女子大学